

Beyond 57 years



Beyond 57 years



アスカカンパニー株式会社

〒679-0221 兵庫県加東市河高4004
TEL 0795-48-4323
<http://askacompany.co.jp/>

企業理念：人々が成長し社会に貢献できる場の提供

長期経営目標：さまざまな産業の生産性向上への貢献



Top Message

アスカカンパニー株式会社は1968年の創業より、医療・分析・食品・コスメティック・トイレタリー・工業分野と多岐にわたりプラスチック製品の開発、製造、販売を行い、広く社会の皆様のお役に立てることを目指してまいりました。

アスカカンパニーの企業理念は「人々が成長し社会に貢献できる場の提供」です。
“一人一人の成長、価値向上は会社の成長にも作用し、それらは社会への貢献につながる”
そのような場を提供し続けるという考え方です。
たとえば全社員が参加するQCサークル活動は、1978年のキックオフ以来欠かさずことなく継続して行って参りました。
この改善活動は我々の企業文化の中心でもあり、この活動を通して全社員が成長し続けています。

長きにわたり蓄積した弊社独自のものづくり技術より生まれた製品開発技術、計測技術、画像処理技術、金型保守技術、情報処理技術などを製品化、サービス化し、広く社会に新しい価値を提供する事で、「プラスチック産業の生産性向上」に微力ながら貢献させて頂きたいと願っています。

また、スピードある社会変化と多様な社会要請に適応するために、ユーザー様を中心に、プラスチック業界にとどまらず異業種企業様、研究機関様などからのご支援も頂きながら、新たな製品・サービスの創造をして参ります。
今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

アスカカンパニー株式会社
代表取締役 兼 CEO(最高経営責任者)
長沼 誠

Knowledge Park全景(2018竣工)



Knowledge Park内部(2018竣工)



KY House全景(2017リノベーション)



KY House外観(2017リノベーション)



Profile



会社概要

会社名	アスカカンパニー株式会社
設立	1968年(昭和43年)2月1日
資本金	1億円
代表	長沼 誠
従業員数	約250名
本社所在地	〒679-0221 兵庫県加東市河高4004
連絡先	TEL 0795-48-9900

経営ツール

QCサークル活動 目標管理	
ISO9001:2015	品質マネジメントシステム ※認証範囲:プラスチック分野 / 認証サイト:大阪・新宿オフィスを除く
ISCC PLUS	マスバランス方式 ※ナレッジ - パークのみ取得
	※食品安全システム(FSSC22000)及び 食品安全システム(ISO22000)は取得後更新せずに自主管理

お取引先様(敬称略 アイウエオ順)

アサヒグループ食品株式会社
ウイストン株式会社
江崎グリコ株式会社
大塚テクノ株式会社
株式会社太田胃散
株式会社オフテクス
カウバック株式会社
株式会社ガリウム
関西チューブ株式会社
キッコーマンバイオケミファ株式会社
共同印刷株式会社
小林製菓株式会社
株式会社サクラクレパス
サンスター株式会社
シスメックス株式会社
菅野包装資材株式会社
積水成型工業株式会社
株式会社太陽チューブ
タカナシ乳業株式会社
武内プレス工業株式会社
東洋製罐株式会社
栃木精工株式会社
株式会社トパテック
日世株式会社
日本光電工業株式会社
ハーゲンダッツ ジャパン株式会社
株式会社バックプラス
不易糊工業株式会社
フカイ工業株式会社
藤倉コンボジット株式会社
富士フイルム和光純薬株式会社
ムネ製菓株式会社
ヤマトマテリアル株式会社
日本山村硝子株式会社
チチヤス株式会社

ほか

会社沿革

1968年 長沼誠一郎が尼崎市大西に京都化成工業株式会社を設立
1969年 滝野町高岡で(仮)工場にてプラスチック成形品の製造販売を開始
1972年 滝野町高岡に『関西工場』竣工 5,457.77㎡(1,700坪)
1978年 宮城県加美郡宮崎町に『東北工場』竣工 8,234.84㎡(2,500坪)
MK活動(QC活動)キックオフ
1982年 本社を尼崎市より滝野町高岡に移転
1985年 東京都内に東京営業所を開設
1986年 株式会社トムス設立、金型製作開始(現在 関西工場と併設)
1989年 大阪府茨木市に大阪営業所開設
1995年 アメリカに現地法人ASKA COMPANY設立
1999年 資本金1億円に増資
2000年 本社工場ISO9002認証取得
2001年 本社工場ISO14001認証取得
関西工場にオフセット印刷工場増設
2002年 京都化成工業株式会社から社内公募により
『アスカカンパニー株式会社』に商号変更(CI)
2003年 滝野工業団地に工場用地を取得 13,577.02㎡(4,100坪)
2005年 長沼恒雄が代表取締役、長沼誠が代表取締役副社長に就任
2006年 『本社工場Sサイト』竣工(竹中工務店 施工)
測定器の開発製造事業開始
2007年 関西工場にオフセット印刷機2台目増設
2008年 設備・金型の異物除去クリーニング事業
IPF 国際プラスチックフェアに初出展
2009年 インターフェックスジャパンに初出展
2010年 東北大学と脳機能解析分野において、多点独立光刺激装置『MiLSS』を開発(共同特許取得)
独自のインラインカメラ分析システムの開発

2013年 『本社工場Nサイト』竣工(竹中工務店 施工)
第5回みやぎ優れMONOに認定される
2014年 宮城県新工場用地として雁原(がんばら)工業団地に
13,332.08㎡(4,040坪)を取得
2015年 ISO22000 / FSSC22000認証取得(食品安全規格)
ひょうごNo1ものづくり大賞受賞(超薄肉成形の生産・品質管理技術)
衛生優良事業所 兵庫労働局連合会賞受賞
2016年 関西ものづくり新撰2016に選定される
安全優良事業所 兵庫労働局長賞受賞
2017年 ビッグデータ処理による成形品の良否判定及び成形装置の
異常兆候の事前把握を可能とする発明を行い、特許出願
京都化成メモリアルオフィス『KY House』竣工
(COLLAB DESIGN リノベーション施工)
2018年 創業50周年を迎える
「射出成形機の故障予測のための手法とそれを用いた検査装置」を発明し特許取得
宮城県新工場『Knowledge Park』12月竣工(ビーエス三菱 施工)
2019年 成形機型縮力監視装置 CFM 発売開始
ASスパウトシリーズ販売開始
2020年 ISO9001(2015年度版)再取得
ユースール認定(若者雇用促進法に基づく認定)を取得
くるみん認定を取得
2021年 「異物発生原因推定システム」を発明し特許取得、工場にてシステム稼働開始
弊社QCサークル活動「MK」を商標登録
えるぼし認定を取得
長沼恒雄が代表取締役 兼 CTO(最高技術責任者)、
長沼誠が代表取締役 兼 CEO(最高経営責任者)に就任
アメリカ現地法人 解散
2022年 株式会社トムスがアスカクラフト株式会社へ社名変更
プラスチック成形加工学会 技術進歩賞を受賞
Knowledge Park がISCCPLUS認証取得
2023年 加西インター産業団地に工場用地を取得 13,013.68㎡(3,936坪)
バイオマス材利用による生産開始
2024年 クリーン度クラス100環境での、容器組立・試薬充填ライン稼働



脱炭素社会に向けて
ASKAオリジナル - ASファミリーを提供



[循環型社会に貢献するASシリーズ]

ASシリーズのコンセプトは **3R**
 Reduce リデュース Reuse リユース Recycle リサイクル



ASKA COMPANY が貢献する事業分野全体像



AS Family はASKA COMPANYオリジナルの製品とサービスです

企業理念：人々が成長し社会に貢献できる場の提供
 長期経営目標：さまざまな産業の生産性向上への貢献

受託・開発製品

ライフサイエンス

医薬/診断/医療機器/
分析/産業試薬+容器充填

生活

食品/ヘルスケア/トイレタリー
コスメティック/ステーションナリー/スポーツ

産業資材

樹脂バックドラム



ASシリーズ コンセプトは3R・循環型社会

スパウトパウチ容器/アイスクリーム容器LID/カトラリー/知財提供製品

循環型社会に向けたマテリアルの社会実装

ISCC Plus認証スキーム/バイオマスプラ/マテリアルリサイクル



生産性向上

夜間無人化セミナー
デジタル改善活動と人材育成セミナー
外観検査カメラ体験セミナー
DXトップセミナー

人材開発

人材マネジメントセミナー
成形技能セミナー



酸化還元式クリーニング

ホットランナーマニホールド
ミキシングノズル
ギヤポンプ



検査補助

プラスチック切断装置キットロウ

製品開発

流動解析シミュレーション
3Dモデリング/試作/製品評価・測定



プラスチック

アスカカンパニーのプラスチック成形は、設計から知財管理までトータルでご提案いたします。もちろん、品質は長年培ったノウハウをもとに評価技術を駆使し保証するとともに、整った生産体制/生産環境にて、より高い品質を提供いたします。これらアスカカンパニーの技術力は、弊社の経営方針に基づいた社内活動や取り組みによって支えられています。



開発

プラスチック製品の開発パフォーマンスはアスカカンパニーの組織力と固有技術が源です。

開発が強い

「設計は顧客満足の源流」という強い意識

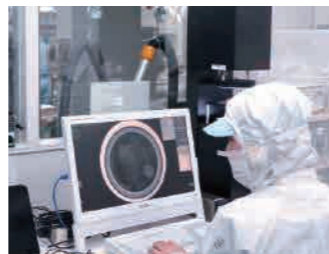
品質・納期・コストにおいてお客様のニーズにお応えするため、アイデアスケッチから知財調査・製品設計・金型製作・製品評価・製造までをトータルでご提案。デザインから製品に要求される機能の開発及び形状設計を行います。



数値化でコンセプトを明確に

開発力を支える高い評価技術

要求品質を明確にするため積極的に数値化して管理を行います。様々な評価方法を自主探索して導入し、必要であれば自社の技術でソフトウェア・ハードウェア問わず開発して対応します。開発した測定器はオリジナルの測定器として販売を行うレベルに仕上げ、様々なフィールドで活躍しています。



評価・測定の受託

試作ステップだけのご依頼が価値の証

お客様から弊社が関わらない開発試作品の「製品評価・測定のご依頼」をいただくことや、お客様から金型を持ち込んでいただき試作だけのご依頼をいただくことがあります。試作ステップだけのご依頼は弊社の持つ価値であると理解し、試作ステップに磨きをかけます。



生産

IoT -Internet of Things- 人とデータが支える生産工場では良いものしか作りません。

無人化工場

無人化生産工場

それぞれの工場の特徴に沿って生産体制が目指すキーワードを「無人化」や「自動化」と設定。既に夜間無人操業を実現している工場では更なる無人化を目指しています。夜間無人工場では真っ暗な場内で監視機器が製品の出来栄を監視します。



デジタルを活用した生産

全数管理への挑戦

品質項目によっては、あってはならない不良が存在します。そのような不良をなくすために、アスカカンパニーでは画像処理によるカメラ検査や、検査機によるトレーサビリティ等全数品質保証の体制に磨きをかけます。



豊富な技術とノウハウ

DXIによる人材育成

さまざまな機器の製作ノウハウを保有し、カメラ検査・IoT機器なども含め自分たちの技術で設置・調整を可能としています。工場のデータを活用しワンランク上の管理を行える『現場サイエンティスト』を育成。デジタル技術と成形技能の融合による安定した生産や品質を実現します。



品質

品質は結果を物語ります。クレームゼロへの執念はひた向きの技術研鑽の道を歩みます。

源流管理

源流管理にこだわり続けます

悪い製品を見つけて排除するのではなく、いいものしか作らない状態を源流で管理するという思想で歩み続けて参りました。生産工場の温度管理・金型の保守並びに保管管理・冷却水の水質管理など、多様なかたちで源流を管理しています。



バイオリジカルクリーンルーム

クリーン環境というワンランク上の品質

1984年から培ってきバイオリジカルクリーンルーム生産体制はさらに磨きをかけてハイレベルな管理を実現しています。浮遊菌やコンタミネーション管理を行い、異物対策を徹底し、Class100での生産オペレーションも実践しています。温度管理の行き届いた工場は人に優しい快適な環境です。



センシングとビッグデータ

ビックデータを活用した品質管理

生産機器にセットした様々なセンサーからの情報を長年培った現場力の目で紐解きます。データサイエンスの力と現場力の視線からビッグデータ処理を行う事で成形品の良否判定や成形装置の異常兆候の事前把握を可能とする理論を発明することが出来ました。





メンテナンス

社内で培った技術を提供します。
ホットランナー金型やミキシングノズル・ギヤポンプなどの装置に特化し、装置内で固化した樹脂やコンタミネーションを酸化還元方式によるクリーニングにより取り除くことが可能なサービス(M-Cleaning)を、2004年から取り組んだ実績で提供しています。

金型に優しい流路内面クリーニング

長く良い状態で金型・成形装置を維持する

通常のメンテナンスでは対応することが難しい、金型内部に滞留した樹脂を除去できます。
専用のオープンを用いて高熱で処理し、樹脂を酸化還元させて除去するため、金型を傷つける処理のない非常に「金型にやさしい」クリーニング方法です。
金型分解時には専任技術者が金型の劣化や異常を確認し、



黒点異物対策として

見えない箇所も樹脂も除去できる

金型内部に残留した樹脂はいずれ炭化しコンタミネーションとして製品に現れます。弊社のクリーニングは、その原因となる樹脂を除去するため、黒点異物対策として優れた効果を有します。
金型以外のミキシングノズルや装置などにも対応しております。



さまざまな産業の 生産性向上への貢献

新しい技術、新しい可能性

プラスチック成形分野で培った独自のものづくり技術でサービス化・製品化を行い、多くの企業様において生産性向上の一助になればと願っています。
そしてその成果は脱炭素社会につながると信じています。

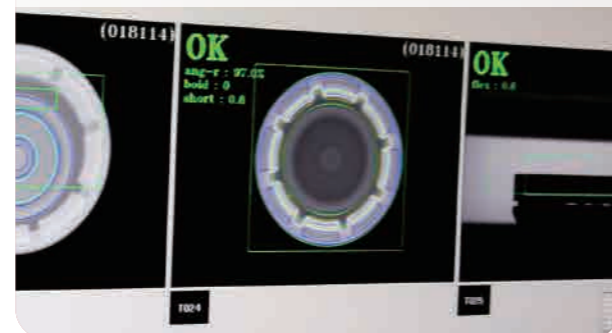
プライベートセミナー

人と機械の良い所を合わせる『人と機械の協働』
様々なセンシングデータを解析&活用し、人だけでも機械だけでも出来ない新しい品質管理やそのノウハウ、人材の育成方法などを有料セミナーとして提供しています。



外観検査カメラ体験セミナー

社内でカメラ検査設置・設定までの運用と、その後のデータ活用方法までを実際の事例と共にご紹介。実際のカメラ設定作成までを体験できます。



デジタル改善活動と人材育成セミナー

プラスチック製品製造における品質管理にてIoT・AIを活用しています。どの様に品質管理を行っているのか、その実際の姿を全てお見せします。



夜間無人化工場セミナー

技術と経営の両方の視点から夜間無人化工場の立上げ・運営に取り組んだ実績を元に、プロジェクトの進め方や人材の育成方法まで具体的に紹介します



開発支援

アスカカンパニーでは、プラスチック成形における正確化、効率化の機器を自社で開発しています。これらは、社内のMK活動(QC活動)や独自のものづくり技術力から生まれた私たちが必要としていた機器です。実際に私たちが使って、使い勝手の良いものに上げていますので、お客様にも是非ご利用いただきたく、商品化したしました。

キッタロウ

成形品の切断を簡単&安全に

MK活動(QC活動)による改善活動にて生まれた、作業改善機器です。
検査や評価工程での成形品内部確認にて行なう切断作業の危険さに対して作成された成形品専用切断機で、この原理による軽い力での切断と、飛散防止対策とフルプルーフ機構による労働災害対策も含まれています。



受託測定サービス

製品品質の維持管理には数値データによる客観的な管理をおすすめします。MK活動(QC活動)にて作業改善と安定した数値化を求め、力を数値化出来る一軸強度試験機と二軸強度試験機を開発しました。
この『力の測定器』により、様々な作業の強度試験を行えます。一軸では上下方向の、二軸ではより人の動きに近い形での測定、また機械のため繰り返し試験を得意としています。



一軸強度試験機 [Z-Gauge]



二軸強度試験機 [XZ-Gauge]

人々が成長し社会に 貢献できる場の提供

アスカカンパニーの理念であり目的・使命(ミッション)として「人々が成長し社会に貢献できる場の提供」があります。



楽・正・早・安 らく・せい・そう・あん

全ての作業を、より楽に楽しく、より正しく正確に、より早く、より安全・安心に、できるように改善する

1978年から途切れることなくQCグループによる改善活動『MK活動』を続けています。半年を1つの期間とし、合計12回のディベートの間で身近に感じる問題について対策を行います。またリーダーには若手からベテラン社員まで幅広く任命されるため、様々な視点で問題に取り組むことができます。改善活動を継続して行うことで、お客様への良い製品・良いサービスの提供に努めています。また活動の締めくくりとして行なうMK成果発表会では、外部よりお客様にご観覧頂きご意見やご講評をいただいております。

活動の中で生まれた主な製品



成形品切断機『キッタロウ』



一軸強度試験機『Z-Gauge』



フォークリフトマストガード『汚れん棒』

脱炭素社会に向けて

モノを無駄にしない循環型社会に適したモノづくりをする

プラスチック製品のメーカーとしての義務と責任により、持続的な社会実現のため、重点的に活動する『GX推進チーム』が活躍しています。達成方針と課題・取り組み内容を明確に設定し、『社会実装可能な製品』の実現を着実に進めています。

展示会からセミナー、必要な法律・認証制度など、環境に対する情報や知識を管理し、社内で共有することで社全体の循環型社会に対する意識や知識の向上を促進しています。また地域への環境教育や他社との連携など、社内外問わずアスカカンパニーの環境への取り組みを担っています。



Osaka Healthcare Pavilion Nest for Reborn



プラスチック製品のメーカーとして重要なプラスチック成形技能資格者が多数在籍し、また東北工場においては検定実技試験の会場として提供を行っています。

黄綬褒章の受章者をはじめ、卓越した技能を持つものに送られる技能顕功賞の受章者、また特許・発明の表彰など様々な技能を持つ者が在籍しています。

社内技能研修を積極的に行い技術研鑽を続けつつ、えられたノウハウたちをセミナーという形で外部提供しています。

子供向け環境知識絵本



北はりま稲刈りロボットコンテスト

情報処理とデジタル機器の扱いを学べる子供向けのロボットイベントへの協賛・参加や、環境に対する取り組みを中高生へ提供するゲストティーチャーなど、積極的に知識教育を行なっています。また地域交流イベントに参加し、自社の環境への取り組みだけでなく、プラスチックを取り巻く環境情報の提供なども行なっています。

生産設備やインフラの装置をセンシングし、それぞれの状態を『装置からの言葉』と捉えセンシングデータを人が解析しています。センシング技術と解析レベルを上げることで品質保証、予知保全、省エネなどにつなげています。私たちは、機械や装置と人が密接につながることで生産性向上を目指しています。

これがASKACOMPANYのものづくりコンセプト Human&Machine『人と機械の協働活動』であるゆえんです。



アスカカンパニーの主な業務と役割



品質保証室

AMS(ASKA Management System)、品質管理システムの構築、プロセス改善、不具合対応、教育などさまざまな活動を通じてASKAの品質向上に貢献します
AMSには目標管理・プロジェクトが含まれます

経営企画室

経営戦略立案、予算管理、リスク管理、ガバナンス強化

HR Grp. 人事に関する業務と企業ブランディング

ファイナンス室

資金管理や財務計画、経営資源の中核となる財務関連業務を担当します

システムデザイン室

ASKAのシステム戦略の策定、長期的なシステム開発の方向性を示し、組織全体の業務目標を支援するための基盤デザインを行います



セールス Grp.

- ▶ 既存/新規顧客との信頼構築
- ▶ マーケティング
- ▶ 受注方針策定

営業開発 Grp.

- ▶ WEBマーケティング
- ▶ CRM(顧客関係管理)
- ▶ 各種コンテンツ制作



設計 Grp.

- ▶ ニーズを具現化し、実現可能な製品設計
- ▶ シミュレーションによる解析・モデリング
- ▶ ASシリーズ開発WG(自社製品開発)

金型・設備 Grp.

- ▶ 生産性の高い金型・生産設備の開発及び製作



プロダクトマネージメント Grp.

- ▶ お客様・開発・生産工程とのコミュニケーション及びマネジメント
- ▶ 開発プロセスでの製品評価



ファクトリー Grp. + 生産技術 Grp.

- ▶ ものづくりから品質保証まで製造のコアとなる部門
- ▶ コンセプトは ~人と機械の協働活動~

エネルギーマネージメント Grp.

- ▶ センシングツールの利用による解析からエネルギーの最適利用へ
- ▶ センシングツールを利用し予防保全や品質管理などへ応用、開発から実装までを行います
- ▶ インフラ設備の保守管理



生産企画 Grp.

- ▶ 生産プロセス全体を計画から納品までを最適化します

物流 Grp.

- ▶ 製品や原材料の輸送、保管、流通を効率的に管理し、お客様や内部に安定した供給を提供します

デュアル組織

- ◆ GX推進チーム
- ◆ 助成金マッチングチーム
- ◆ セミナーチーム
- ◆ 型替えアプリ推進チーム

※ Grp.・・・グループ



本社工場 〒679-0221
兵庫県加東市河高4004
TEL 0795-48-4323

関西工場 〒679-0222
兵庫県加東市高岡276-34
TEL 0795-48-9900

東北工場 〒981-4414
宮城県加美郡加美町孫沢52
TEL 0229-67-3883

ナレッジパーク 〒981-4263
宮城県加美郡加美町字雁原27番7
TEL 0229-25-7087

江坂サテライトスペース 大阪府吹田市広芝町
江坂駅7号出口より徒歩2分

新宿サテライトスペース 東京都新宿区新宿
新宿三丁目駅E1出口より徒歩1分